



荒尾市立図書館
マスコットキャラクター
しろっち

令和7年10月8日

北海道網走市議会視察

荒尾市立図書館資料



- ・日本空間デザイン賞2022入選
- ・第41回 ディスプレイ産業賞
奨励賞 受賞

『図書館満足度』全国14位
2022地域元気指数調査
(人口5万人以上市町)

荒尾市教育委員会
生涯学習課

荒尾市

面積 57.37km²

東西10km 南北7.5km

人口 48,543人

男性:22,968人 女性:25,575人

世帯 23,998世帯

※R7.9月末現在

小学校10校 2,587人

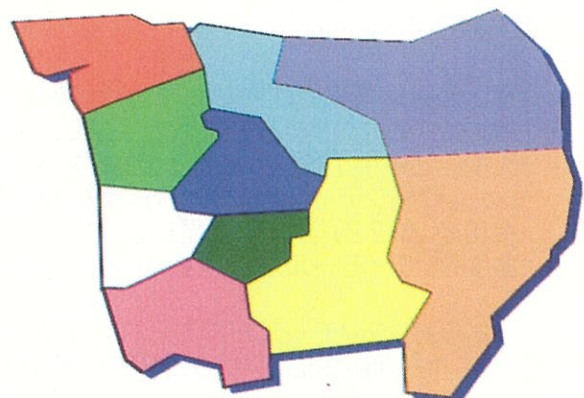
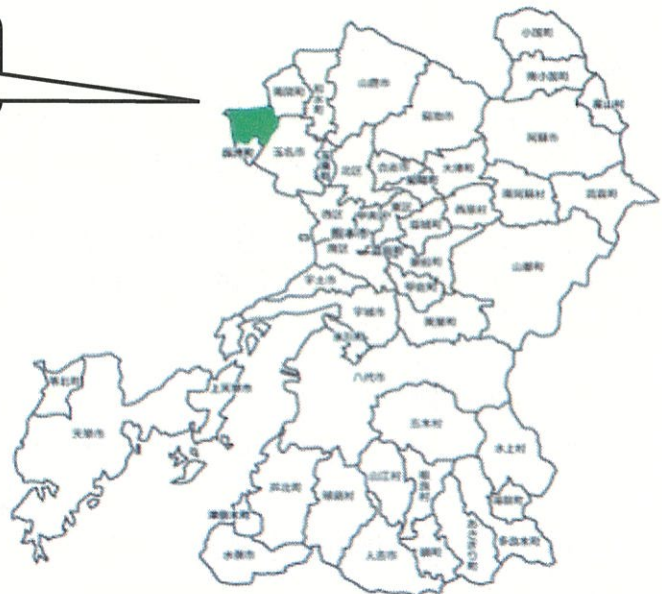
(H19→11校、H20→10校)

中学校3校 1,234人

(H20→4校、H22→3校)

※R7.5.1現在

- | | |
|----------------------|------------------|
| ● まんだ
万田小学校 | ○ ありあけ
有明小学校 |
| ● あらおだいいち
荒尾第一小学校 | ● さくらやま
桜山小学校 |
| ● ちゅうおう
中央小学校 | ● やはた
八幡小学校 |
| ● みどりがおか
緑ヶ丘小学校 | ● ふもと
府本小学校 |
| ● ひらい
平井小学校 | ● きよざと
清里小学校 |



◎荒尾市マップ【新旧図書館】



○荒尾市立図書館利用データ（H20～R1年度）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
本館来館者数(人)	41,185	46,850	42,890	45,116	48,352	47,694	48,793	49,139	37,586	42,630	45,331	41,276
本館貸出冊数(冊)	113,128	108,453	119,171	106,007	112,217	105,907	103,692	114,248	88,484	101,591	110,028	98,573
移動図書館利用者数(人)	6,353	5,646	7,427	7,268	7,493	7,618	5,706	6,204	4,356	5,702	4,666	4,339
移動図書館貸出冊数(冊)	24,483	21,701	26,526	26,784	30,838	32,074	25,047	25,885	19,317	29,778	13,887	24,630

2

◎移転整備の背景

荒尾市立図書館は昭和48年の開館以来、市唯一の図書館として、多様な資料・情報・学習機会を提供してきましたが、以前の施設では将来にわたって地域や市民のニーズに 대응していくことが難しくなっていました。

このような状況をふまえ、市民が生涯にわたり学び続ける力の向上を目指すとともに、魅力あるまちづくりを推進することを目的に、あらおシティモールへの荒尾市立図書館の移転整備を検討することとしました。

旧図書館の課題

- 施設面 施設内が狭いため、蔵書・閲覧スペース、学習・キッズスペースが不足。
バリアフリー化されていない。全体的に老朽化が進行。
- 利用面 利用者層に偏りがある。中高生や若い世代が少ない。

あらおシティモール

特定商業集積整備法に基づき、大型店と中小小売店の共存共栄により、商業振興とまちづくりを一体的に行うことを目的として、平成9(1997)年4月にオープン。

大型店と中小小売店からなる全国的にも珍しいショッピングセンターであり、市も出資する第三セクター、荒尾シティプラン(株)と荒尾商業開発(株)の2社による運営体制でスタート。

令和4(2022)年4月、荒尾シティプランに経営が一元化となった。

あらおシティモールが立地する緑ヶ丘地区は、荒尾駅周辺地区とともに本市の中心拠点の一つ。

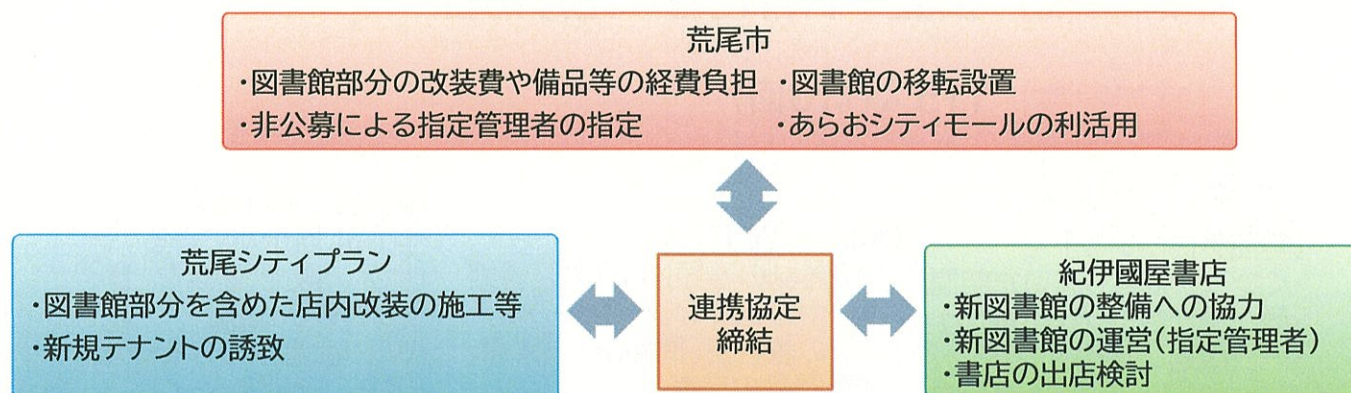
※あらおシティモールが建てられた場所は、旧三井三池炭鉱の社宅跡地。

三井三池炭鉱は、平成9(1997)年3月31日閉山。

3

◎移転整備の経緯

- R1(2019)年8月 荒尾シティプラン(株)から(株)紀伊國屋書店との連携について本市に提案がある。
- R1(2019)年 11月 (株)紀伊國屋書店と図書館整備について協議を始める。
- R2(2020)年3月 本市、荒尾シティプラン、紀伊國屋書店の三者にて整備内容について協議を重ねる。
- R2(2020)年 11月 「荒尾市立図書館の質の向上とあらおシティモールの活性化に関する連携協定」を締結。



4

◎移転整備の効果

- 図書館の質的向上
あらゆる世代の市民が学びを深める拠点として多種多様な資料を収集・保存・提供
市民が気軽に集まることができる知的コミュニティの場を創出
- 早期開館と投資コストの抑制
あらおシティモール内に官民連携で整備することで、単独整備(約15億)に比べ短期間で開館が可能初期投資と維持管理に係る費用が抑制できる。
※協定締結から1年5ヶ月で開館
- あらおシティモールの活性化
新図書館の移転整備により、来店者の増加やテナントの誘致につながる。
あらおシティモール全体の魅力が向上

移転整備スケジュール

※移転整備と並行して、指定管理(非公募)選定、開館イベント業務など、様々な業務を実施。

	令和2年度						令和3年度												令和4年度				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
●三者協定		協定締結 (11/5)																					
●市民ニーズの把握、反映		ワークショップ ヒアリング アンケート調査																					
●整備方針の検討策定			整備方針の内容検討・策定 (コンセプト・機能・規模・ゾーニング等)					方針策定															
●市議会		設計負担金の上程					工事負担金等の上程				債務負担の上程				指定議案の上程 ・条例改正の上程								
●設計、工事 開館準備						基本設計・実施設計							工事施工					引越作業等			開館 内覧会		

5

📖 ワークショップ調査 📖

現在、利用が少ない世代も訪れたいくなるような図書館を目指すため、子どもや学生、社会人や子育て世代の方々にご協力いただき、ワークショップを開催しました。

参加者からの様々なご意見は、新図書館の機能やサービスにおいて、実現できるよう努めます。

【対象者】 小中学生、高校生、PTA、市役所女性職員

【実施期間】 令和2年11月15日～12月10日

【参加者数】 115人(計6回)

～ 参考意見 ～

【雰囲気について】

- ・くつろげる落ち着いた空間
- ・静か過ぎない(BGMあり)
- ・一日中過ごせる雰囲気

【本について】

- ・本や雑誌の種類NO.1の図書館
- ・世界中の様々なジャンルの本
- ・学校の教科書、問題集、参考書や専門書の充実

【機能について】

- ・自由に展示ができる
- ・物品の販売(書店など)
- ・無料Wi-Fi設備
- ・WEB会議ができる環境
- ・個室の学習スペース

6

📖 アンケート・ヒアリング調査 📖

多世代の市民に訪れていただける図書館を目指すため、市ホームページやSNS、あらおシティモール内などにおいてアンケートを行い、多くの方々にご協力をいただきました。

また、障がい者団体の方にもヒアリングを行うなど、誰もが利用しやすい図書館を目指します。

【実施期間】 令和2年11月28日～12月18日

【回答者数】 764人

～ 参考意見 ～

- ・落ち着いてくつろげるようなスペースにしてほしい(50歳代)
- ・県外の方にも魅力的で、用がなくても行きたくなるような空間がいい(40歳代)
- ・デジタルに重点を置いた図書館がいい(30歳代)
- ・近隣にないような図書館がいい(70歳代)
- ・問題集や参考書を置いてほしい(10歳代)
- ・子どもが利用しやすいようなキッズのスペースがあるといい(40歳代)
- ・小さな子連れでも利用できるスペースがあると行きやすい(20歳代)

7

◎デザインコンセプト

デジタルライブラリーと書店の空間が図書館を横断することで、賑わい空間と干潟の図書館との音の緩衝材となるような配置としている。



おおらかな本の干潟へ
新たな発見と学びを求めて探索に行く。
「干潟の図書館」



荒尾干潟(ラムサール条約湿地)

干潟の図書館ではオープンな空間に、潮溜まりのような緩やかな配置計画とすることで、干潟を自由に探索するような空間体験を作り出している。

【設計】

株式会社 船場

【コンセプトデザイン】

ケイニータン・アーキテツ (シンガポール)

8

◎郷土の魅力を盛り込む

コンセプトを基に設計を進めていく中で、荒尾干潟だけでなく、様々な荒尾市自慢の資源を盛り込む企画を検討していきました。



万田坑(世界文化遺産)



野原八幡宮風流
(国指定重要無形民俗文化財)



節頭行事(市指定無形民俗文化財)



郷土の偉人 宮崎兄弟



郷土の詩人 海達公子



小代焼(国指定伝統的工芸品)

その他、県産材や地元素材の版築壁(おやこコーナー、おはなしのへやの土壁)、有明高専とのコラボレーション等、郷土色を積極的に盛り込みました。

9

◎整備費、設計・施工業者、施設借上料、指定管理料

	項 目	金 額(円)	備 考
1	内装工事負担金	約6億4,940万円	図書館部分内装設計・電気・設備工事等
2	備品等購入費	約1,629万円	既製備品(館内用椅子、事務用備品、消耗品等)
3	図書購入費	約1,998万円	新規図書購入(1万冊)
4	各種委託料等	約1,437万円	wi-fi整備、システム改修、書籍運搬等
	計	約7億円	

指定 管理料 (紀伊國屋書店)	年額：約1億円【10年契約】 ※非公募にて選定 指定管理料内訳…人件費、事務費、事業費、管理費、事務経費、図書購入費(紙1,500万円・電子書籍600万円)	【人員体制】 旧図書館12名→新図書館20名
-----------------------	---	--------------------------------------

設計 【コンセプトデザイン】	株式会社 船場 【ケイニータン・アーキテクツ】シンガポール
内装工事(給排水、防災、空調関係等)	清水建設株式会社
内装工事(電気機械設備、照明、壁面仕上等) 【デジタルライブラリー】	株式会社 船場 【株式会社 紀伊國屋書店】

10

◎施設概要

	項目	荒尾市立図書館 (新図書館)	荒尾市立図書館 (旧図書館)	備考
(1) 面積		3326.5㎡(1006.3坪)	789.44㎡(239.1坪)	約4倍
(2) 開館時間		全日 10:00~20:00	月曜~土曜 9:30~18:30(2階のみ17:30) 日曜・祝日 9:00~17:00	
(3) 休館日		毎月月末(土日祝の場合翌日) 年末年始12/29~1/3 特別整理期間(7日間程度) ※IC導入により特別整理期間短縮	毎週水曜(祝の場合翌日) 毎月末(日祝の場合翌日/水曜の場合翌日) 年末年始12/29~1/3 特別整理期間(2/17~2/28)	
(4) 蔵書数		R4開館時 約10.5万冊 (開架約8.5万冊)	R元年度 約10万冊(開架約7.5万冊)	
(5) 電子書籍数		R4導入時 約7千タイトル ※R3のコロナ対策費でシステムを構築	—	
(6) 座席数		約250席 ※館内ベンチ、おはなしのへや含まず	約60席	約4倍
目標値	蔵書数	約15万冊	R4年度開館時 約10.5万冊	約1.5倍
	貸出数	約30万冊	R元年度 約9.8万冊	約3倍
	来館者数	約15万人 ※R4年9月7日で15万人達成 R5年4月29日で30万人達成 R6年3月10日で50万人達成 R7年7月頃 80万人達成	R元年度 約4.1万人	約3.5倍

11

学校教育との連携の試み

- ◆**学校図書館・市立図書館・市教委の連携強化**
学校図書館司書や図書担当教諭との情報交換会を開催するなど図書館・学校・教育委員会の連携強化を図る。
- ◆**児童生徒による図書館見学**
市内小中学校や支援学校の見学を積極的な受入や県立高校のキャリア探求授業との連携を図る。
- ◆**電子書籍の活用**
学校用タブレットによる電子書籍の利用促進を図る。
※宮崎兄弟物語の活用なども各学校へ情報発信
- ◆**デジタル学習スタジオの活用**
外部講師による遠隔授業などスタジオの活用を図る。
- ◆**並行図書(授業に並行して使用する図書)の貸出**
並行図書(小学校国語用)の団体貸出を継続する(各校配送・回収)
- ◆**教科書センターの常設**
児童生徒が現在、授業で使用している教科書への興味関心を促進



↑iPad画面にアイコン作成



小学館とコラボ作成した学習まんが『宮崎兄弟物語』
※学校用タブレットからは無制限・同時アクセス可

14

ブックリストの作成

図書館職員が、テーマごとに選んだ資料をリストとして作成し、HP等で案内している。
※(学年ごとの児童書)おすすめリスト⇒1か月ごとにリストを更新。

よみきかせ(小1・2年生向け)おすすめ本リスト

小学校低学年(5〜7歳)の子どもさんに読んでほしい・読んで聞かせてあげたい本を選んでみました。高学年・大人にもおすすめの素敵な本です！		宮崎市立図書館ブックリスト No.6 「よみきかせ(小1・2年生向け)」 2023.7月	
1	ふしぎなキャンディーやさん タヌキのおじさんからもらったのはふしぎなキャンディー。赤いキャンディーを口に入れて、オオカミになってしまったフタくんはみんなをからかいます。すると本物のオオカミが現れてしまいピンチに！フタくんはどうする？ ①みやにし たつや ②金の星社 ③E9 ミヤ ④2007 ⑤20043508	11	てをつなぐ ぼくはかあさんとてをつなぐ。かあさんはもうとてをつなぐ。つなぐつなぐつなぐつなぐつなぐ。つなぐはだれとてをつなぐのかな？ ①鈴木 まもる ②金の星社 ③E9 スズ ④2017 ⑤20049341
2	やさいのおしゃべり きゅうりがきらいなれいちゃんがいそこのまををとりかかると、なにやらこえがきこえてきました。それはやさいたちのひみつのおしゃべりだったのです。 ①泉 なほ ②金の星社 ③E9 イス ④2005 ⑤20030330	12	おじさんのかさ おじさんは、くろくて大きながさがが自慢です。雨が降っても決して開きません。でも、ある雨の日、寒くうたうたうたうたうたうたに出会って…。かさと一緒に、少しづつおじさんの心も開いてゆきます。 ①佐野 洋子 ②講談社 ③E9 サノ ④1992 ⑤20024245
3	なまえのないねこ ぼくはねこ。なまえのないねこ。だれにもなまえをつけてもらったことがない。「いいな。ぼくもなまえほしいな」。名前を盗す野良猫が見つけた「ほんとうに欲しいもの」とは？ ①竹下 文子 ②小峰書店 ③E9 タケ ④2019 ⑤20039431	13	せんたくかあちゃん せんたくが大好きなくまちゃんかあちゃん。ユーモラスなかみなりとの間に繰り広げられる、けたはずれに楽しくて元気のいい物語です。 ①さとう わきこ ②福音館書店 ③E9 サト ④1982 ⑤20012741
4	あまがえるさん、なぜなの？ むかし、かあさんのいうことをきかない、あまがえるのこがいました。このこはだいのへそまわり。かあさんがなにをいっても、はんだいのことはかりしていたのです。韓国画の有名な昔話を絵本にした作品。 ①キム ハウォン ②で・え・ら画房 ③E9 キム ④2008 ⑤20046989	14	さよなら さんかく 昔から子どもたちに親しまれてきた「さよならさんかく」のわらべうたを元に創作された絵本です。最後の「さよならさんかく」までいったら、本をくりりとさかさまにしてください。逆転遊びを続けたら、ふりだしまで戻れるように作られています。 ①安野 光雅 ②講談社 ③E3 アン ④1981 ⑤20038699
5	赤い糸 ある日見つけた赤い糸。それを持っていくと聴こえてくる世界の悲しみや苦しみの声。さらに糸を巻いていくとそれぞれの幸せの姿が見えます。悲しみや苦しみを巻いた赤い糸は大きな玉になっていきます。世界は幸せになるのでしょうか？ ①うさ ②絵本館出版 ③E9 ウサ ④2015 ⑤20036045	15	みけねこキャラコ キャラコは茶色の毛が小さくて、みけねこに見えませんが、色紙や絵の具で茶色をつけるのです。うまうまきません。そんなある日、くらねはあさんの言葉で元気になったキャラコは…いつの間にかそのまの自分が好きになっていました。 ①とい かや ②創成社 ③E9 トイ ④1998 ⑤20017351

15

書店や文化団体等とも連携し
幅広い年齢層向けのイベントを開催

北尾まどか先生が教える
**「すみっコぐらししろうぎ」
入門**

「すみっコぐらししろうぎ」のルールをならって
おともだちとたいきよくしてみよう。

2022年 4月 9日(土)

1 回目 13:00～13:30 / 定員20名
2 回目 14:00～14:30 / 定員20名

会場: 紀伊國屋書店
あらおシティモール店
特設会場

●参加方法
紀伊國屋書店あらおシティモール店にて事前受付や
店頭・お電話でもらっても受け付けいたします。
●参加費
参加費は無料です。



参加: 幼児、小学生と保護者
(2回で42名)

荒尾市立図書館 紀伊國屋書店あらおシティモール店
合同開催企画

**島山健二先生・山口恵子先生
トークショー＆サイン会**

トークショー ●どなたでも参加いただけます。

2022年 4月 16日(土) 14:00～15:00
会場: 荒尾市立図書館内特設会場

サイン会 ●定員20名

2022年 4月 16日(土) 15:00～15:30
会場: 紀伊國屋書店あらおシティモール店内
特設会場

●申込方法: 荒尾市立図書館あらおシティモール店にて事前受付や店頭・お電話でもらっても受け付けいたします。
●参加費: 参加費は無料です。

島山健二先生 本棚おけりシリーズ 1～18巻
山口恵子先生 絵巻道シリーズ 1～6巻

●お申し込み先: 紀伊國屋書店あらおシティモール店 TEL: 0968-64-8011



参加: 20代～70代(30名)
※熊本市内からの参加も

劇団かたつむり 大型紙芝居

カッパとアマビエ

劇団オリジナルの作品で、たたみ1枚ほどの大きな紙芝居も
劇団員みんなで手作りしました。
カッパとアマビエがくり広げる心あたたまるお話です。ぜひ、
観に来てください!!

【日時】 5月4日(水祝)15:00～15:20
5月5日(木祝)15:00～15:20

【場所】 あらおシティモール 紀伊國屋書店前スペース

【主催】 劇団かたつむり・荒尾市立図書館



参加: 幼児、小学生と家族
(2日間で約130名)

16

📺 ツキイチ上映会 📺

月に1回、館内で映画の上映会を行う。
参加費無料
20名程度(予約不要、先着順、途中退席OK)



9月の上映作品
←オレンジ・ランプ

📺 その他 📺

・特設コーナー展示!!



Wamanyaya
わたもの

浴衣 着付け教室

浴衣を着て、この夏をより楽しもう!

日時: 7月21日(日) 13:00～15:00
会場: 荒尾市立図書館
参加費: 無料

お申し込み・お問い合わせは図書館へ
お電話または、カウンターまで

↑上浴衣着付け教室↑

荒尾市立図書館
第1回 **読書会**

～お気に入りの本を～
自分の好きな本、読んでみるのはいかが?
おもしろい本を紹介しよう!

今週のテーマ
おすすめの本を紹介しよう!
(1人1冊の本を推薦してください)

2024
6/9
SUN
13:00～

お申し込み・お問い合わせは
荒尾市立図書館カウンター、またはお電話(0968-64-7747)へ

↑読書会↑

荒尾市立図書館で
ウォーリーをさがそう!

ウォーリーをさがせ!

6/4(水)～6/30(木)

図書館の中にかくれている
ウォーリーたちをさがそう!
あついたら、すぐプレゼントをもらえます。

館内で配っている冊子用紙に
答えを書いて カウンターで
見せてください。
紀伊國屋書店あらおシティモール店でも
お楽しみプレゼントを配っています!

↑ウォーリーをさがせ↑

荒尾市立図書館
Night Library

2024/09/14(土)～09/16(月)
OPEN 20:05～22:00
参加費無料/事前予約制/ドリンク付き

お申し込み・お問い合わせは
荒尾市立図書館カウンター、またはお電話(0968-64-7747)へ

↑NIGHT 図書館↑

17

荒尾市制施行80周年記念事業

令和4年8月6日(土) 原ゆたか先生
「お絵かき会&講演会&サイン会」



☆ お絵かき会&サイン会 ☆

参加者:市内小学生36名、保護者36名

☆ 講演会&サイン会 ☆

参加者:市内外 中学生以上39名

※年齢層:中学生~60代

市内・市外 約半々

(市外:大牟田、玉名、長洲、熊本、宇土)

荒尾市制施行80周年記念事業

令和4年11月19日(土)
平野啓一郎さん講演会&サイン会



参加者:市内外 約80名

※年齢層 20代~70代

市内・市外 約半々

(市外:長洲町、玉名市、玉東町、熊本市、甲佐町、芦北町、大牟田市、久留米市、田川市、福岡市、筑前町、大木町、築上町、佐賀県小城市)

18

R5年4月9日(日)
学研の図鑑ライブトークショー



参加者:約120名 年齢層 小学生~70代
市外:福岡県 福岡市、みやま市、大牟田市
熊本県 菊池市 など

質疑応答では、マニアックな質問もあるなど、子どもたちも真剣に話を聴いていた。図鑑づくりの裏側のリアルなお話はとてもおもしろく、イベント参加者はかなりの割合で図鑑や関連本を買い、サイン会にも参加するなど大盛況だった。学研の方も驚かれており、成功事例として今後のイベントの参考にしたいとのこと。

R5年7月1日(土)
姜尚中さん講演会&サイン会
「故郷を知る、アジアを生きる」



参加:約230名(1階のみ)
サイン会67名

【アンケートより】

年齢層:40代~70代

市外:長洲町、南関町、玉名市、大牟田市

開催決定から約2週間の周知、悪天候だったが想定以上の来場者。図書館来館も1187人(土曜では過去3ヶ月最多)。政治・社会学という難しいテーマを分かりやすく解説され、知的満足度の高いイベントとなった。

※著書5月発刊「アジアを生きる」990円は50冊完売。

総監修 集英社95周年記念企画「アジア人物史」4400円も数冊購入されていた。

19

R5年7月22日(土)
宮西達也さん講演会&サイン会



イベント参加:約110名 親子向け
(市外:玉名市、大牟田市など)

新図書館開館1周年記念で、「おまえうまそうだな」シリーズの作家さんをお呼びしての講演会を開催。読み聞かせありの楽しいイベントを開催。子どもたちも真剣に話を聴いていた。参加者の大半が関連本を買い、サイン会にも参加するなど大盛況だった。

R5年11月11日(土)
海堂尊さん講演会&サイン会



イベント参加:約80名 大人向け
(市外:熊本市、玉名市など)

新図書館開館1周年記念で、「チームバチスタ」シリーズの作家さんをお呼びしての講演会を開催。作家であり医師でもある先生の話に参加者も真剣に聴いていた。また、サイン会も盛況だった。

20

R7年3月23日(日)
大友剛さん
マジックと音楽と絵本のコンサート
&サイン会



イベント参加:約182名 親子向け
(市外:玉名市、大牟田市など)

紀伊屋書店との共催で、絵本の翻訳作家さんをお呼びして、マジックや音楽、絵本の読み聞かせなど盛り沢山の楽しいイベントを開催。子どもたちも作家の見事なマジックと話術に引き込まれ、真剣に話を聴いていた。講演後のサイン会にも多くの参加者が並ぶなど盛況であった。

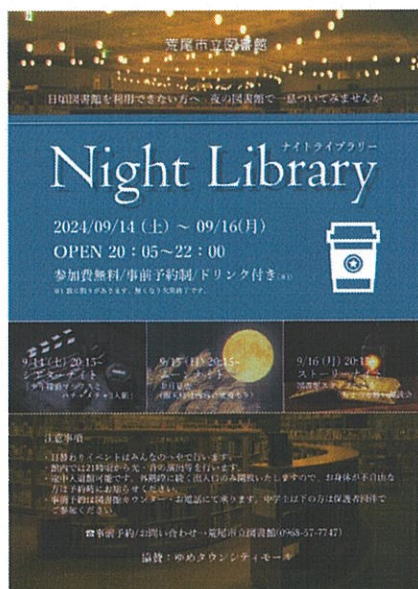
R7年4月26日(土)
学研の図鑑ライブ
トークショー &サイン会



イベント参加:約66名 親子向け
(市外:玉名市、大牟田市など)

紀伊屋書店との共催で、今回は恐竜に関する図鑑の編集者をお招きし、楽しいイベントを開催。専門的な話であったが、子どもたちも編集者の見事な話術や即興の恐竜のイラストに大いにひきつけられていた。トークショーの後のサイン会では、参加者の大半が関連本を購入し、列に並ぶなど大盛況だった。

21



ナイトライブラリー(3日間)
約300人参加



産交バスコラボイベント
11/5(火)~11/10(日)56名参加
産交バス乗車体験会や産太くんのめりえなどを実施。

展示関係



人権フェスティバル展示会



宮浦選手寄せ書き



パリオリンピック展示会



教科書展示会

視察対応について

10/18(金)
北海道札幌市中央図書館視察（2名）



1/20(月)
熊本県あさぎり町議会視察（8名）



12/5(木)
熊本県玉名市高校図書室司書視察（10名）



★令和6年度 視察対応件数・・・26件

視察内容

- ・今後図書館移転を検討している
- ・図書館×書店が併設されているメリット
- ・デジタルライブラリーについて
- ・商業施設に入居しているメリット など

24

荒尾市立図書館について
もっと知りたい方はこちら！

公共化するショッピングモール
価値の転換 #5



新建築.ONLINE ホームページ

荒尾市ってどんなところ？
裏側から見た新図書館整備事業



本場のVOICES
新荒尾市立図書館ができるまで。
そして、これから①

図書館ができるまでの動画



図書館の照明、書架、壁、装飾などの
ものづくりの様子を分かりやすくコメント
もつけた動画。市立図書館内のデジタル
サイネージでも公開中。

25

📖 学びを『つたえる』図書館 📖

生涯学習の拠点施設として、機能やサービスの充実を図り、利用のニーズに沿った取組を展開していきます。多くの市民が学びを深め知を育むことができる図書館を目指します。

📖 交流活動と『つながる』図書館 📖

多世代が気軽に立ち寄り、滞在し、交流できる居場所づくりを進めます。学校や地域、団体とのつながりづくりを進め、市民の交流活動を推進し、誰にとっても居心地のよい空間を目指します。

📖 未来に『つづく』図書館 📖

市民やボランティアの活動を支援し、時代のニーズに応える図書館づくりを進めます。ユニバーサルデザインやバリアフリーに対応し、デジタル化も積極的に推進しながら、誰もが快適に利用できる環境づくりを目指します。

「本のまち・文化のまち」あらお

紙の本を基本としながらも、デジタル化も推進し、学習だけでなく交流もできる市民のサードプレイスを目指します。

開館して3年がたってどうなった？



26

○子どもも大人も学べる場

平日の夕方、土日の日中は、中高生が館内各所で学習している。夏休みなど長期休暇は小学生の姿も。貸出利用年齢数【年齢別】のグラフからも若者の学習利用が貸出にもつながっている。

子どもが学ぶ姿に大人も刺激され、学習室を利用する大人の姿も多くみられる。

○学校以外の学びの場

夏休みや春休み期間など図書館の「みんなのへや」を学習室として開放し、大人から学生までの学びの場となっている。

○多世代の居場所

土日は子ども連れの親子、平日は祖父母と孫などの利用あり。土日のおはなし会は一定数の参加がある。平日の日中は、文化サークルや買い物利用の高齢者、夕方は中高生が多い。

○図書館機能の多様な活用

市民団体や市各課の展示、展示と書籍特設コーナーとの連携なども行い、多様な活用が図られている。

○施設連携による読書推進

シティホールやセンターコート利用でのイベントにより図書館や読書への興味関心が促されている。テナント店長おすすめ本コーナーなどテナントと連携した取組も始めている。

○他地域からの利用

有名作家の講演会や様々な書店と連携したイベントへの遠方からの参加あり。市外の新規登録者も多い(約30%)

○デジタルによる読書推進

学校用ICTの電子書籍利用による児童生徒の読書の推進。

○SNSによる情報発信

SNSによる情報発信やイベントも気軽に申込みができるよう電子申請なども活用している。

学習だけでなく、交流もできる市民のサードプレイスとなりつつある。

27

○商業施設内への荒尾市立図書館の移転整備について

・官民連携の運営体制と成果について

紀伊國屋書店との指定管理者制度による運営で、どのような成果や課題がありましたか？

→直営では出来ないイベント（有名な作家の講演会）、書店×図書館コラボイベントなど出版社との繋がりがあるので、イベント・講座の集客が見込める。

・利用者層の変化と来館者数の推移について

移転後、来館者の属性や利用目的にどのような変化がありましたか？

移転後の令和4年度には、来館者数が目標の15万人を大きく上回る約29万人に達したとの報告があります。市外・県外からの来館も増えているとのことで、地域活性化への波及効果を探る視点です。

→移転前の図書館は、中央公民館と併設しており、老朽化も進行しており、施設内が狭いため学習・キッズスペースが不足していたが、移転後、館内の座席数を増やし、若い世代（特に中高生）の学習をする人の利用が大幅に増えた。

・図書館機能の拡張と今後の展望について

電子書籍やイベントなど、図書館機能の拡張に関して今後どのような展望を描いていますか？

→一般の方向けの電子書籍利用は苦戦中。市のスマホ教室にて電子書籍利用方法を案内し、また館内にも利用方法を掲示しているが、なかなか利用数が増えずに課題である。デジタルライブラリーにて、電子書籍利用に関するイベントを企画中。

小・中学生には市よりタブレットを配布しており、こちらは徐々に利用が増えている。

今後の図書館イベントは、本に関するイベント(朗読会、出版社系の書店共催イベント等)はもちろん、健康・歴史・趣味に関する内容で会場に関連本を展示できそうなイベントを引き続き模索していく。

・商業施設との契約内容で、単独設置ではないメリット（土日含む）は？

→初めに荒尾シティプラン（株）から（株）紀伊國屋書店との連携について本市に提案があり、その後、「荒尾市立図書館の質の向上とあらおシティモールの活性化に関する連携協定」を締結し、新図書館の移転整備を行った。

・立地の場所が優位なのか、複合施設であることが優位なのか、「サードプレイス」の目的含めて知りたい。

→商業施設のなかに指定管理者となる書店と一緒に整備したことが大きい。新図書館の移転整備により、来店者の増加やテナントの誘致にもつながり、ゆめタウンシティモール全体の魅力向上につながっている。また、図書館において新たなイベントを開催し、利用者を飽きさせない取組を展開し、図書館・書店等との連携により、本を中心に多世代が気軽に過ごせる空間づくりを行うとともに、地域活性化にもつながっている。

・おそらく一般事業者の「書店」と併設することのメリットと、他の一般書店との競合調整は？

→書店共催(ブックフェア・サイン会等)とすることで、図書館単体では断られるような出版社系のイベント開催が可能となる。また選書の際にベストセラーや話題書の現物確認ができ、書店売上データを選書に活かすことができる。

他の一般書店には主に雑誌の注文を行っている。

・メイン図書館ではなく、サテライト図書館とする考えはなかったのか？

→荒尾市立図書館は、昭和48年の開館以来、市唯一の図書館として運営しており、老朽化していたことから魅力あるまちづくりを推進することを目的に、ゆめタウンシティモールへの荒尾市立図書館の移転整備を行った。

・商業施設内に移転したことにより、利用者数や来館者層にどのような変化がありましたか
→別紙資料参照

・書店・カフェとの併設による効果や課題は何でしょうか

→図書館の一部(みんなのひろば)は飲食が可能であり、お茶を飲みながらゆったりと過ごせるサードプレイスとなっている。カフェで販売している飲み物には全て蓋が付いているので、館内にも持ち込み可。また利用者一人ひとりの利用回数・滞在時間も増えている。

課題として、図書館や書店の本が入り混じらないようにすること。図書館の本はICタグ管理をしているが、書店は本の在庫数管理はしているがICタグ管理は行っていない為、図書館内に置いてあることがある。

・図書館としての機能と商業施設としての特徴を活かすため、設計段階で工夫された点はありますか
→別紙資料参照

・中心市街地活性化や交流人口増加に対して、どのような成果が見られているでしょうか

・商業施設内への移転を企画した理由と背景 →別紙資料参照

・移転する前後の利用者数年齢層の推移 →別紙資料参照

・移転したことによるメリットとデメリット

→新図書館の移転整備により、ゆめタウンシティモールの来店者の増加、また、図書館の来館者数、貸出冊数も旧図書館の時と比較すると大幅に増加している状況。

・市民の反響と評価

→広くゆったりとした空間で、くつろげる。(逆に、広すぎてどこに何があるか分からないとの意見もあり)

学習スペースが増えて嬉しい。予約せずに使用できるので、使いやすい。

(逆に、荒尾市以外の方の利用が増え、席が足りないとの意見もあり)

毎月楽しいイベントがあり、楽しい。

イベントに参加した際、ノベルティ(出版社からもらったシールやカード等)がもらえて嬉しい。

・各ゾーンの利用状況

→ 一般書コーナー(干潟の広場)…ヤングアダルト・大人向けの本を開架。平日はご高齢者を中心に利用者が多く、夕方からは学習室にて勉強する学生が増える。土日は館内の席はほぼ満席、学習室の席が足りない時は、館内の席でも勉強する姿が見られる。

児童コーナー(おやこのコーナー)…小学生までの本を開架。土日はファミリーで滞在する方が多い。毎週おはなし会を開催。

みんなのへや…図書館開催の小・中規模イベント使用や、市関連の会議、夏休みや市内

中・高校の試験期間に合わせて学習室として開放。

みんなのひろば…飲食可能で談話が出来る為、市民の憩いの場となっている。グループで勉強をする学生の姿も見られる。

・全国初のデジタルライブラリー導入の狙いと効果、反響

反響…最初は物珍しそうにご覧になる方はいるものの、使用率アップに関しては苦戦中
郷土の学びとしての利用や、昔の写真を眺めて楽しむ方はいる。

・建設費用と賃貸料含む維持費、費用対効果

→別紙資料参照

・書店とカフェ併設の効果と課題

→（書店・カフェとの併設による効果や課題は何でしょうか）で回答

・交流も出来るサードプレイスの具体的な取組

→（立地の場所が優位なのか、複合施設であることが優位なのか、「サードプレイス」の目的含めて知りたい。）で回答

